

型番：OT-MFT90AK

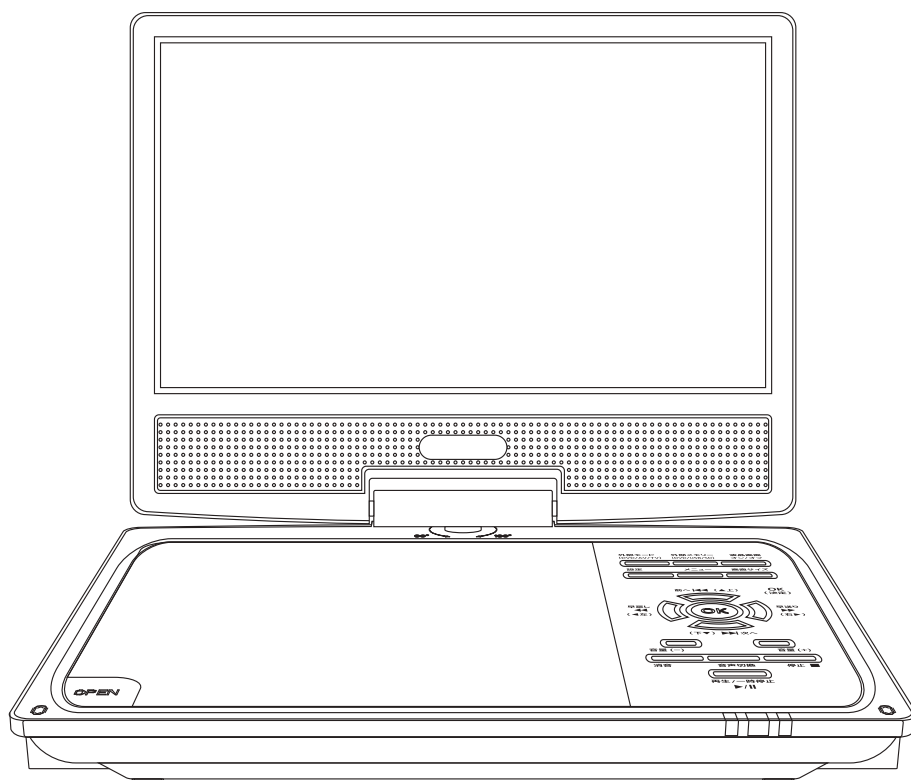
(家庭用)

この度は本製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

地上デジタル ワンセグ放送 対応

9インチ液晶 ポータブルDVDプレーヤー

取扱説明書



<必ずお読みください>

電気製品は安全の為に注意事項を守らないと、重大な事故が起きる場合があります。この取扱説明書には、事故を未然に防ぐ為の重要な事項や取扱い方法を明示しております。本書をよくお読みの上、安全にご使用くださいますようお願い申し上げます。

※本書はいつでも見られる場所へ大切に保管してください。

目次

はじめに

安全上の注意	3-6
ディスクの取扱いと用語	7-8
付属品リスト	9
各部名称（プレーヤー本体）	10
各部名称（リモコン）	11-12
リモコンについて	13
電源の接続	14
外部機器との接続	15
充電について	16
ディスクの再生	
DVD・DVD-R/RW	17-20
音楽 CD・CD-R/RW	21
外部メモリー（SD/USB）の利用	
メディアの読み込み	22-23
音楽ファイルの再生	24
動画ファイルの再生	25
画像ファイルの再生	26
データの管理	27
音楽 CD から録音	28
メディア／データファイルについて	29
機能の設定／機器の調整	30-32
地上デジタル放送の視聴	
ご視聴前の準備	33-34
放送局（CH）の登録	35-37
TV モードの操作&設定	38-39
録画機能を使う	40
録画用メディアの準備	41-42
録画関連機能の利用	43-45
受信レベルの確認	46
トラブルシューティング	47-49
製品仕様	49
その他（各種注釈や免責など）	50-51
アフターサービス／保証規定	51-52

- ご使用前に当項「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- 当項に明示された事項（「警告」「注意」）は安全に関する重大な内容が記載されておりますので必ずお守りください。
- 当項に明示された事項を守らず故障や不具合が発生しても保証は適用されず、当社では一切の責任を負いません。

■表示の説明

表 示	表 示 の 意 味
 警告	“ 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症（*1）を負うことが想定されること ” を示します。
 注意	“ 取扱いを誤った場合、使用者が傷害（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること ” を示します。

- （*1） 重症とは失明やケガ、やけど（高温／低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院や長期通院を要するものをさします。
- （*2） 傷害とは治療に入院や長期通院を要さないケガ、やけど、感電などをさします。
- （*3） 物的損害とは家屋、家財および家畜、ペットなどに関わる拡大損害をさします。

■図記号の例

図 記 号	図 記 号 の 意 味
	“  ” は禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や付近に絵や文章で示します。
	“  ” は指示行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制事項の内容は、図記号の中や付近に絵や文章で示します。
	“  ” は注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や付近に絵や文章で示します。

異常／故障のとき	 警告
発煙や異臭がおきた場合、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと そのままご使用を続けると、火災や感電の原因となる場合があります。発煙がおさまったことを確認し、お買い上げ販売店またはカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。	 電源プラグを抜く
内部に水や異物が入った場合、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと そのままご使用を続けると、火災や感電の原因となる場合があります。お買い上げ販売店またはカスタマーサポートセンターまで点検をご依頼ください。	 電源プラグを抜く
製品の落下やキャビネットの破損がおきた場合、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと そのままご使用を続けると、火災や感電の原因となる場合があります。お買い上げ販売店またはカスタマーサポートセンターまで点検をご依頼ください。	 電源プラグを抜く
コード部分の損傷や電源プラグの異常な発熱がおきた場合、すぐに電源を切り、プラグが冷えたことを確認し、コンセントから抜くこと そのままご使用を続けると、火災や感電の原因となる場合があります。お買い上げ販売店またはカスタマーサポートセンターまで点検をご依頼ください。	 電源プラグを抜く

設置されるとき

 警告

電源プラグは先に本体に接続してからコンセント（またはシガーソケット）に接続すること
電源アダプターは付属されている本機専用のアダプターを使用すること
接続順を逆にしたり、付属品以外の物を使用した場合、火災や感電の原因となる場合があります。（※車用 DC アダプターは DC12V マイナスアース車専用です）



お風呂、シャワー室、キッチンなど、水のかかる恐れのある場所には設置しないこと
火災や感電の原因となる場合があります。



機器や付属品の上に物を置かないこと
金属類、液体が入ったもの（花瓶、コップ、化粧品など）、重いものなどを機器の上に置くと、機器の破損、火災、感電、ケガなどの原因となる場合があります。



ご使用されるとき

 警告

改造・分解・修理などおこなわないこと
火災や感電の原因となる場合があります。
点検や修理はお買い上げ販売店またはカスタマーサポートセンターまでご依頼ください。



ディスクトレイや端子部などから異物を入れないこと
金属類、紙類、ほこりなどが内部に入るとショートして火災や感電の原因となる場合があります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



雷が鳴りだしたら、本機およびアダプター等には触れないこと
感電の原因となる場合があります。



コード類（電源コード、接続コードなど）は
「傷をつける」「延長などの加工を施す」「加熱する」「引っ張る」「無理に曲げる」
「ねじる」「束ねる」「重い物を載せる」などの行為をおこなわないこと
コード内部で断線やショートして、火災や感電の原因となる場合があります。



お手入れについて

 警告

電源プラグの刃や刃の取付け面、コンセントの差込部分にゴミやほこりが付着している場合は、プラグを抜きしっかり取り除くこと
電源プラグの絶縁低下により、ショート、火災、感電の原因となる場合があります。



設置されるとき

⚠ 注意

温度の高い場所に設置しないこと
直射日光の当たる場所や締め切った自動車内や暖房機器周辺などに置くと、火災や感電の原因となる場合があります。また機器や部品の劣化、破損する恐れがあります。



禁止

湿気、油煙、ほこりの多い場所に設置しないこと
火災や感電の原因となる場合があります。
また機器や部品の劣化、腐食、変形、破損する恐れがあります。



禁止

風通しが悪い（換気できない）場所に設置しないこと
内部の温度が上昇し、ショート、故障、火災の原因となる場合があります。
特に「壁に押し付ける」「押入れや本棚に設置する」
「布や紙など引火しやすい物の付近に設置する」などの行為をおこなわないこと



禁止

設置場所を移動する場合、電源プラグや接続コードは外すこと
プラグやコードを抜かずに運ぶと、コード類が傷つき、断線や故障、火災、感電の原因となる場合があります。また転倒によりケガをする恐れがあります。



指示

ご使用されるとき

⚠ 注意

電源プラグを抜く場合、コード部分を引っ張らないこと
コードを引っ張ると、コードが傷つき、断線、ショート、火災、感電の原因となる場合があります。必ず電源プラグを持って、抜いてください。

引っ張り
禁止

濡れた手で電源プラグやコード類、コンセントを触らないこと
感電や機器の故障の原因となる場合があります。



接触禁止

本機を長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜くこと
万一故障した場合、火災の原因となる場合があります。



電源プラグ

ディスクトレイから内部に手を入れないこと
指を挟みケガの原因となる場合があります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



禁止

異常なディスク（変形、ひび割れ、キズ、接着剤等による補修）は使用しないこと
機器内部でディスクが高速回転します。機器の故障やケガの原因となる場合があります。



禁止

主電源を入れる際は本体や接続機器の音量（ボリューム）にご注意ください。
最大音量の場合、大きな音が出て聴覚障害などの原因となる場合があります。



指示

リモコンの電池を準備（交換）する場合、以下にご注意ください。
「指定外の電池を使用しない」「電池の仕様以外の方法で使用しない（推奨期限の厳守等）」
「極性（+/-）を間違えない」「使い切った電池をリモコンに放置しない」... など
正しく使用されない場合、液漏れ、破裂などにより、火傷やケガの原因となる場合があります。（※ご購入初期時に同梱されている電池は試用品です）



指示

◎取り扱いに関すること

- 引越しなどで遠方へ運ぶときは、柔らかい布などで包み、本機に傷がつかないようにご注意ください。
- 殺虫剤や揮発性の物をかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などと長時間接触させないでください。本機外観の変色や塗装が傷む原因となります。
- 普段本機をご使用されないときは、ディスクを取り出し主電源のスイッチを切っておいてください。
- 本機を長時間ご使用されると機器内部基盤が多少発熱する場合がありますが故障ではありません。
- 長期に渡り未使用状態が続くと機器機能に支障がでる場合があります。

◎置き場所に関すること

- 本機は水平な場所に設置してください。グラグラする机や傾斜地など不安定な場所では使用しないでください。「ディスクが外れる」などが起きて故障の原因となる場合があります。
- 本機をテレビやラジオ、その他電子機器の周辺で使用すると、ノイズや電磁波などの干渉により映像や音声が乱れるなどの症状がでる場合があります。このような場合は設置場所を他の機器と干渉しない場所に移動してご使用ください。

◎お手入れに関すること

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは柔らかい布などで軽く拭き取ってください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を布にひたし、よく絞ってから拭き取ってください。汚れが取れたら乾いた布で水分をしっかりと拭き取ってください。
(注) ベンジン、シンナー等は使用しないこと。本機外観の変色や塗装が傷む原因となります。
- 化学ぞうきんをご利用される場合はその注意書きにしたがってください。

◎日本国内用／一般家庭用機器です

- 本機は日本国内で使用することを前提に製造されております。また一般家庭用機器として製造されております。日本国外での使用、業務用途、異常な連続使用などは行わないでください。

◎結露（露付き）について

- 結露はディスクや機器を傷めます。結露が起きそうな場所や条件下でのご使用にはご注意ください。
(参考) “結露” はこんなときにおきます。
 - ◇寒暖の差が激しい季節（特に車内や締め切った部屋など）
 - ◇機器を寒い場所から急に暖かい場所に移動したとき
 - ◇エアコン / ストーブ / その他冷暖房などにより部屋の室温が急に変化したとき
 - ◇エアコン / ストーブ / その他冷暖房の風が直接あたる場所
 - ◇湿度の高い部屋で使用したとき
- 結露が生じて本機に水滴が付いた場合、本機からディスクを取り出した状態で、「電源（コンセントなど）」「アダプター」「電源プラグ」を接続し、暫く放置します。機器内部の温度が上がリ、水滴がとれます。（※2～3時間 ※使用場所や環境により時間は異なります）

◎再生可能なディスク

本機では、下記のディスクを再生することができます。

		(リージョン)	記録内容	サイズ
DVD ビデオ	DVD DVD-VIDEO DVD-R DVD-RW	 	映像（動画） ＋ 音声	12cm
音楽用 CD	 		音声	12cm

本機では、下記のディスクを再生することができます。

- DVD ビデオフォーマットのDVDソフト・DVD-R/RW
- VR モードで地デジ放送を録画し、ファイナライズ処理された CPRM 対応ディスク
- ビデオモードでアナログ放送を録画し、ファイナライズ処理された DVD-R/RW
- CD-DA フォーマットの音楽用CD・CD-R/RW
- MP3、WMA、JPEG の各形式でデータ保存された CD-R/RW

※上記ディスクであっても、録画に使用した「DVDレコーダー」「ディスク」と本機との互換性や相性により再生できない場合があります。ご了承ください。

※パソコンや DVD レコーダー以外の機器によって作成されたディスクや極端に短い時間の動画／音楽データは再生できない場合があります。ご了承ください。

※ H.264 / MPEG4AVC 形式のファイルは非対応です。

※本機は NTSC テレビ方式に適合したプレーヤーです。他のテレビ方式（PAL, SECAM）表示のディスクは非対応です。

※ DVD±R DL には対応しておりません。また MP3 などのデータはコーデックエラー等により再生できない場合があります。

※ファイナライズ処理が施されていないディスクは再生できません。

* CPRM について ...

CRRM とは Content Protection for Recordable Media の略で、コピーを制限する著作権保護技術のことです。デジタル放送をディスクに記録（録画）して再生する為には、CPRM 対応ディスクと再生機器が必要になります。

* ファイナライズ処理について ...

ファイナライズとは、データを記録（録画）する機器（DVDレコーダー）とその他の再生機器（本機）との互換性を持たせるために必要な処理のことです。DVDレコーダーでディスクに録画しても、ファイナライズ未処理の場合、録画したレコーダー以外の機器では再生することができません。

（ヒント）ファイナライズ処理は「データを記録（録画）する側の機器」でのみ施すことが可能です。

◎ディスクに関する用語

一般に DVD ビデオディスクは「タイトル」という大きな区切りと「チャプター」という小さな区切りに分かれています。音楽 CD は「トラック」で区切られています。

- タイトル : DVD ビデオディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったもの
- チャプター : タイトルの内容を場面や曲ごとに小さく区切ったもの
- トラック : 音楽用 CD の内容を曲ごとに区切ったもの

それぞれのタイトルやチャプター、トラックには順番に番号がふられています。これらの番号を「タイトル番号」「チャプター番号」「トラック番号」などといいます。
(ディスクによっては番号が記録されていないものもあります)

◎ディスクの取り扱いかた

- ディスクの再生面には手を触れないこと
- ディスクに紙やシールなどを貼らないこと
- ディスクの再生面が汚れると、データ読込みに支障をきたし、画像の乱れや音質低下の原因となります。
指紋やホコリなどの汚れは柔らかい布などでディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。
- 汚れがひどいときは、水や薄めた中性洗剤を使い、柔らかい布で軽く拭き取った上で、乾いた布で仕上げます。



再生面は触らない



ディスクに紙等を貼り付けない

ディスクは
中心から外側へ
軽く拭きます

◎ディスクの保管について

- 直射日光の当たる場所や湿度の高い場所には保管しないこと
ディスクが変形したり記録データが破損する場合があります。
- ディスクはキズや汚れが付かないよう、専用のケースに入れて保管してください。

◎初めて本機をご使用されるときは ...

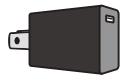
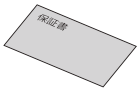
- はじめて本機でディスクを再生する場合、
はじめにディスクトレイ内部にある
「レンズ保護カバー」を取り出してください。
(素材: 紙)



※図の保護カバー（紙製）以外のトレイ内部のもの（レンズやコード類など）は全てディスクの読取りに必要なパーツです。無理に取り出さないようご注意ください。

付属品リスト

◎本機をご使用いただく前に、以下の内容物が全て揃っていることをご確認ください。

 ●本体	 ●リモコン (試用電池付)	 ●AC アダプター	 ●シガーソケット アダプター (12V 車専用)
 ●USB充電コード (TypeA→C)	 ●イヤホン (Φ3.5mm)	 ●AV 接続コード (RCA) (Φ3.5mm)	 ●車載用バッグ
 ●TV 受信用 簡易アンテナ (屋外用)	 ●B-CAS カード	 ●取扱説明書 (本書)	 ●製品保証書

※リモコン付属の電池はテスト用の試供品です。早めに新品と交換してください。

※シガーソケットアダプターについて ...

- お車でご使用の際は、安全な場所に停車してからご使用ください。
- お車と接続する際は、エンジンをかけてから接続してください。
- 当アダプターは DC12V バッテリー仕様の自動車専用です。
- 当アダプターはマイナスアース車専用です。
- 当アダプターの形状は一般的な車のシガーソケット形状に合せたものです。
車側のソケット部仕様によっては取付けられない場合があります。

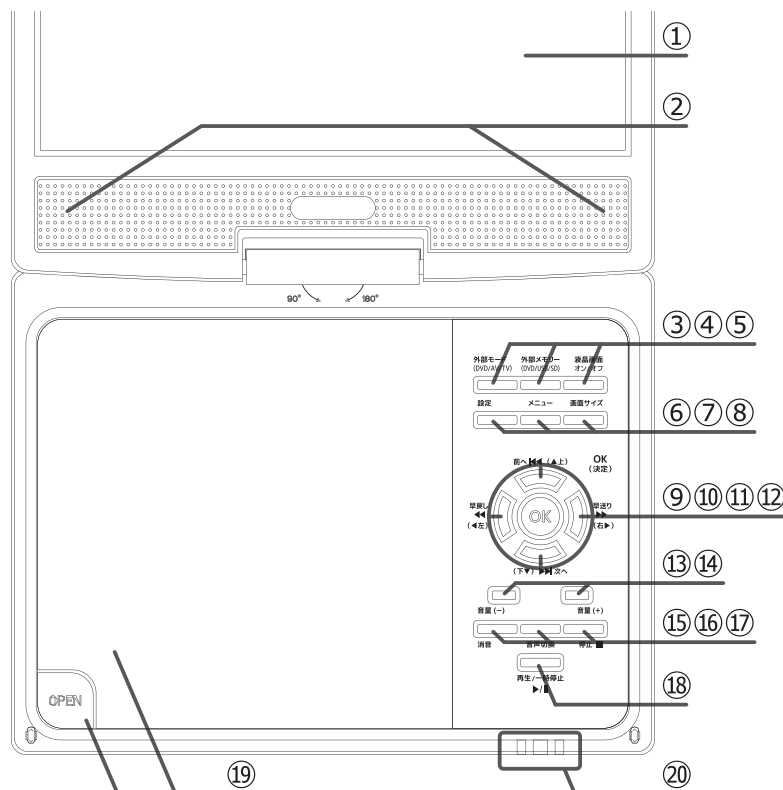
※TV 受信用簡易アンテナについて ...

- 本製品付属のアンテナは屋外用の簡易的なアンテナです。ブースター等は非搭載の為、設置場所によっては受信（視聴）できない場合があります。
特に初期設定（チャンネル登録など）を行う際はスキップの失敗や登録漏れを防ぐ為、受信感度の高いアンテナと接続して設定を行ってください。

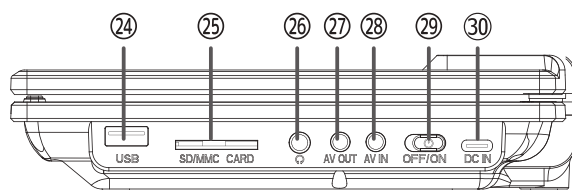
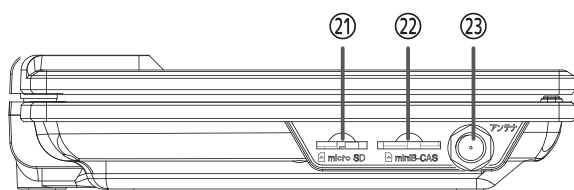
※イラストは説明用のものです。実物とは異なる場合があります。

各部名称（プレーヤー本体）

（ボタンや端子など）



- ① 液晶モニター
- ② スピーカー
- ③ 外部モード切換
(DVD⇒AV⇒TV)
- ④ 外部メモリー切換
(DVD⇔USB/SD)
- ⑤ 画面オン/オフ
- ⑥ 設定
- ⑦ メニュー
- ⑧ 画面サイズ
- ⑨⑩⑪⑫
(前へ)(次へ)
(早送り)(早戻し)
(上下左右移動)
(CH変更*▲/▼)
- ⑬⑭ 音量(-/+)
- ⑮ 消音
- ⑯ 音声切換
- ⑰ 停止
- ⑱ 再生/一時停止
- ⑲ ディスクトレイ
/トレー開スイッチ
- ⑳ リモコン受光部
/状態表示ランプ

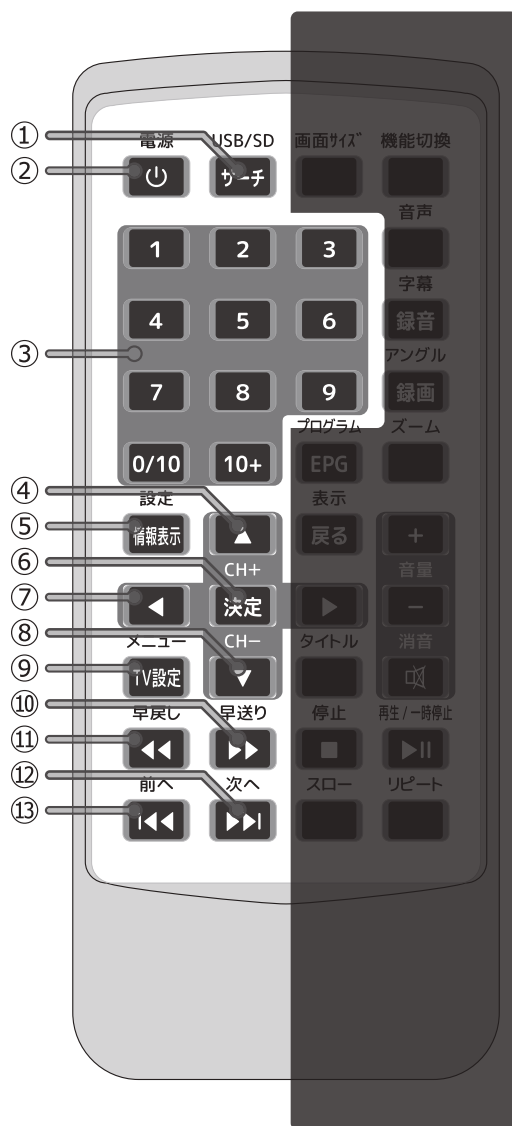


- ⑲ microSDスロット(TV録画用)
- ⑳ miniB-CASスロット
- ㉑ アンテナ入力端子
- ㉒ USB2.0ポート
(メディアプレーヤー用)
- ㉓ SDカードスロット
(メディアプレーヤー用)
- ㉔ イヤホン出力端子(φ3.5/ステレオ)
- ㉕ AV出力端子(RCA)
- ㉖ AV入力端子(RCA)
- ㉗ 主電源スイッチ
- ㉘ 電源入力端子(USB-TypeC型)

各部名称（リモコン）

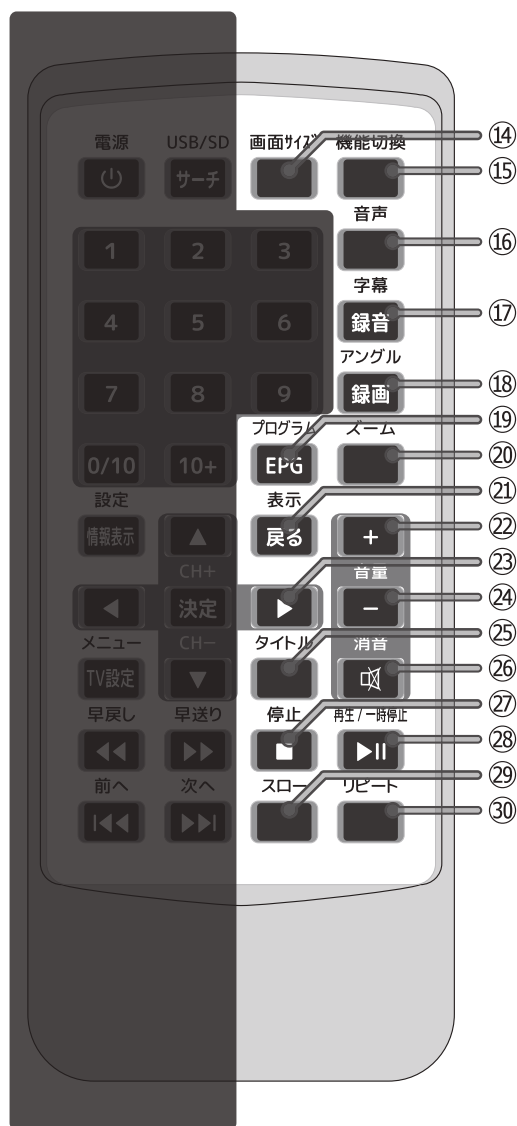
（名称や主な操作など）

- ① USB/SD (サーチ) 〈参照 *P.35〜〉
外部メモリーモードの切換
*TVモード時:チャンネルサーチ
- ② 電源:電源オン/オフ操作
- ③ 数字キー
数字/番号を直接入力
- ④ ▲
上方向への移動/選択
*TVモード時:チャンネル切換
- ⑤ 設定 〈参照 *P.30/38/46〉
機能設定ページの表示
*TVモード時:受信波の情報を表示
- ⑥ 決定
各種設定や選択項目を実行(決定)
- ⑦ ◀
左方向への移動や選択
- ⑧ ▼
下方向への移動や選択
*TVモード時:チャンネル切換
- ⑨ メニュー
ディスクメニューの表示
*TVモード時:TV設定メニューを表示
〈参照 *P.39〉
- ⑩ ▶▶:再生データの早送り
- ⑪ ◀◀:再生データの早戻し
- ⑫ ▶▶|:次のチャプターへ移動など
- ⑬ |◀◀:前のチャプターへ移動など



各部名称（リモコン）

（名称や主な操作など）



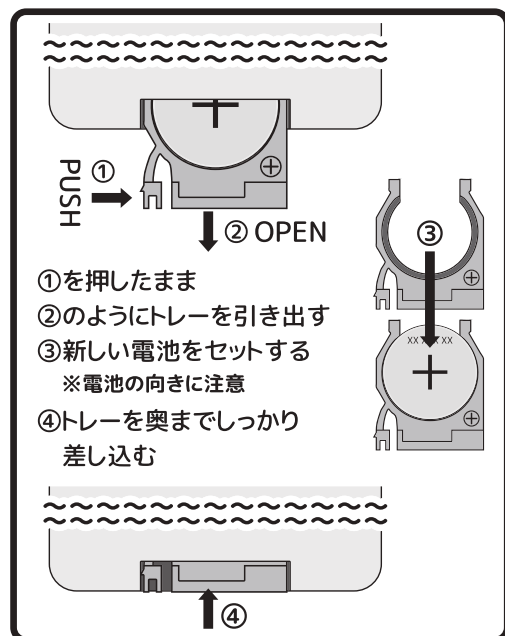
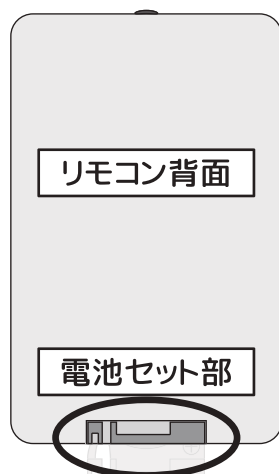
- ⑭ 画面サイズ
表示サイズの変更(16:9⇔4:3)
- ⑮ 機能切換：外部モードの切換
(DVD⇒AV⇒TV⇩)
- ⑯ 音声
音声の切換
- ⑰ 字幕/録音
字幕の切換
音楽CDから外部メモリーに録音
- ⑱ アングル/録画
ディスク再生中のアングル切換
*TVモード時：外部メモリーに録画
※アングル切換は対応ソフトのみ可
- ⑲ プログラム/EPG
プログラム再生の設定
*TVモード時：番組ガイド表示
- ⑳ ズーム：ズーム倍率の変更
- ㉑ 表示/戻る
ディスク情報を表示
一つ前の操作に戻る
- ㉒ 音量(+)：音量を上げる
- ㉓ ▶
右方向への移動や選択
- ㉔ 音量(-)：音量を下げる
- ㉕ タイトル
ディスクのタイトルを表示
- ㉖ 消音
音声の消音⇔出音
- ㉗ 停止
再生中のデータを停止
- ㉘ 再生/一時停止
データの再生⇔一時停止
- ㉙ スロー：スロー再生を行う
- ㉚ リピート：リピート再生の設定

◎リモコン用の電池について

- リモコン用電池の規格型番は「CR2025」型ボタン電池です。
電池をご用意いただく際は型番をご確認の上お買い求めください。
- 製品お買い上げ時に初期セットされた電池はテスト用試供品です。
早々に新品の電池と交換してください。

◎電池の交換方法

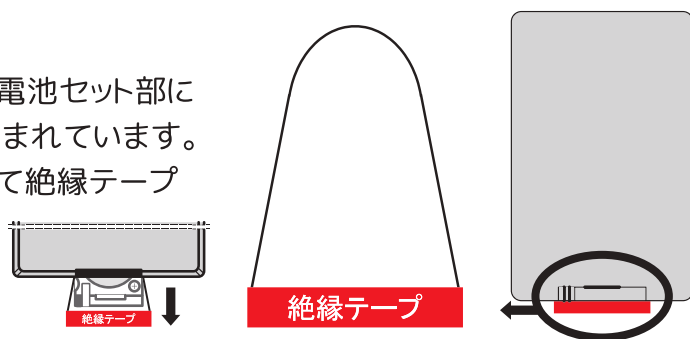
- ① 電池セット部のツメを右に押したまま、電池挿入トレー部分を引き出す。
- ② 古い電池を取り出し、新しい電池と交換。
※電池の向きに注意!
- ③ 電池挿入トレー部分をセット部に奥まで正確に挿し込む。



※電池交換作業を行う場合、電池セット部のツメ折れやキズなどには十分ご注意ください。

◎リモコンの使用方法

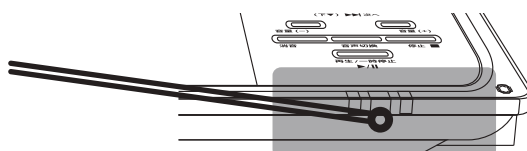
- 製品お買い上げ時にはリモコン電池セット部に図のような絶縁テープが差し込まれています。電池挿入トレー部分を引き出して絶縁テープを外してください。



- リモコンを使用する場合、リモコンの赤外線発射部を本機のリモコン受光部に向けて操作してください。受光する角度は、 $\pm 30^\circ$ 、距離は 3m 以内です。

IR リモコン受光部
(本体正面右下部)

* 充電中または主電源を入れた時に
LED ランプが点灯する部分です



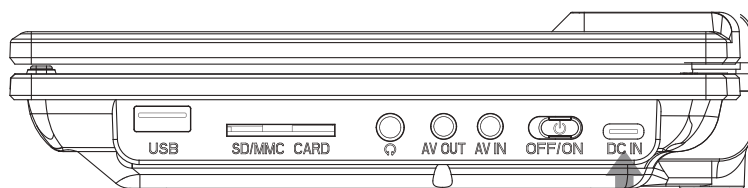
※本体受光部やリモコン赤外線発射部に太陽光など強い光をあてないでください。
正常に作動しない場合があります。

電源の接続

◎電源の接続

- ① 本体側面部にある「主電源スイッチ」がオフ(切)であることを確認します。
- ② 本体側面部にある「電源入力端子」とご利用方法に応じた電源(家庭用コンセントや車内のシガーソケットなど)を付属のUSB充電用コードを使って接続します。
- ③ 各接続部分が正しく取付けられていることを確認の上、「主電源スイッチ」をオン(入)にします。

DVDプレーヤー 側面端子部分



【家庭用ACアダプター】

※付属品または市販品等



【車載用DCシガーアダプター】

※付属品または市販品等



【USB充電用ケーブル】※付属品または市販品等
(市販品をご利用される場合、端子の形状をご確認ください)
(本機の電源入力端子形状はUSB-TypeC(ユーエスピー・タイプシー)型です)

【モバイルバッテリー】

※市販品など



!ご確認ください!(付属品以外の電源をご利用される場合)

市販品等のモバイルバッテリーや急速充電器などをご利用される場合、その電源の「出力定格」をご確認ください。

出力定格が《5V 3.0A》以下のモバイルバッテリーや急速充電器では本機駆動に必要な電氣量が足りず、ご利用いただけません。

⚠ ご注意ください

※各端子やケーブルとの接続は、本体の主電源がオフ(切)の状態で行ってください。

※AC アダプターは必ず付属品のものをご使用ください。

※車載用 DC シガーアダプターは「12V」車専用です。24V バッテリー車等では使用できません。

(アダプターや本体に過度の電圧がかかり故障や破損の原因となる場合があります)

※車載用 DC シガーアダプターはお車のエンジンをかけた状態で取付けてください。

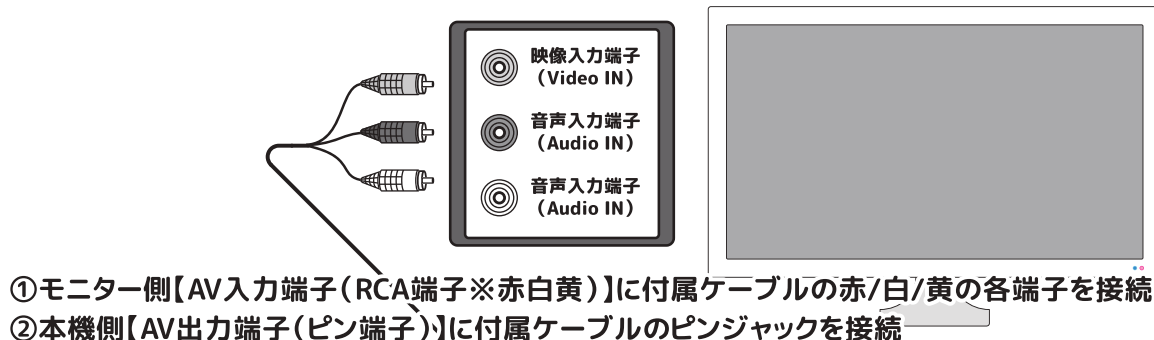
(シガーアダプターを接続したままエンジンをかけると、スタート時に過度な電圧がかかり故障や破損の原因となる場合があります)

※エンジン停止中は車載用 DC シガーアダプターをお車のプラグから外してください。

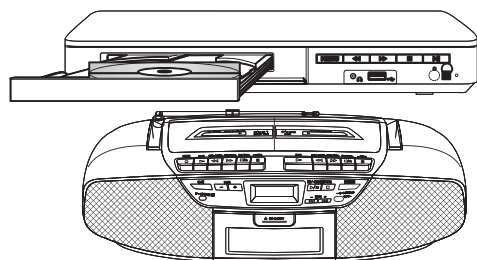
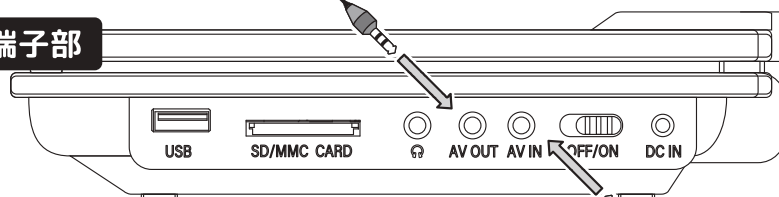
(お車のバッテリーを消耗し続け、残量低下などの原因となる場合があります)

●外部モニター（大画面テレビなど）に出力する

本機で再生する映像等を外部モニター（テレビなど）で視聴することができます。
下図ご参照の上、付属の専用AVケーブルを使用してモニターと正しく接続してください。



本体側面端子部



●外部機器からの映像などを入力する（本機をモニター等として使用する）

他の外部機器（ビデオデッキなど）再生する映像等を本機で視聴することができます。
上図ご参照の上、付属の専用AVケーブルを使用して外部機器と正しく接続してください。

- ①外部機器側【AV出力端子(RCA端子※赤白黄)】に付属ケーブルの赤/白/黄の各端子を接続
②本機側【AV入力端子(ピン端子)】に付属ケーブルのピンジャックを接続

⚠ ご注意ください

※本機と外部機器を接続する場合、必ず「本機専用 AV ケーブル（付属品）」をご使用ください。
各端子部分の形状が同じケーブル類が多数市販されておりますが、付属品以外のものを使って
本機と外部機器を接続しても仕様の違いによって「映像が出ない」「音声が聞こえない」などの
事象が起こる場合があります。

※AV ケーブルを含む全ての付属品類およびパーツ類（本体以外）は全て無償保証の対象外です。

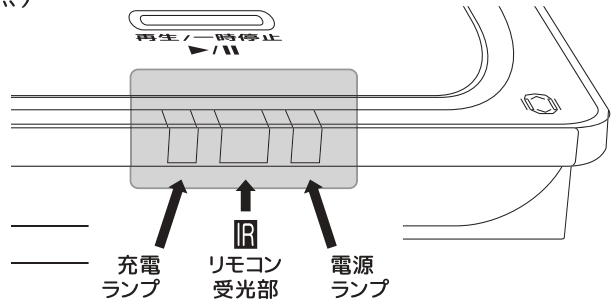
充電について

◎充電電池について

本機にはリチウムイオンポリマー電池（Li-po）が内蔵されております。
内蔵電池に充電済みであれば電源がない場所でもご使用が可能です。

◎充電方法

- 本書 P.14（電源の接続）を参照して、本機と電源を正しく接続します。
本機に正しく通電されると電源表示ランプが点灯し充電が開始されます。
（電源表示ランプの状態は下記参照）



■ 電源表示ランプの状態

- * 充電ランプ：充電中に赤色に点灯します（充電が終わると点灯色が変わります）
- * 電源ランプ：主電源オン（入）で点灯します

◎充電時間／駆動時間

充電電池の電気が完全放電された状態から本体主電源オフ（切）状態で充電を開始した場合、満充電までの時間はおおよそ約 5～6 時間程度です。また満充電の充電電池のみで本機を駆動した場合、おおよそ約 3 時間程度のご使用が可能です。

* 上記記載の時間はおおよその目安です。使用環境や頻度等により異なりますのでご了承ください。

△ ご確認ください

- ※お買い上げ初期時の充電電池は満充電状態ではありません。
 - ※充電電池はその特性上、高温時および低温時での充放電において容量が低下いたします。
 - ※付属のDCシガーアダプターをお車でご使用される場合、お車が「DC12V車である」ことをご確認ください。またお車のエンジンをかけた状態でご使用ください。
 - ※充電に要する時間や充電電池による駆動時間は使用環境や方法などにより変化します。また充電後の駆動時間は、お客様の環境や再生頻度・再生方法等に依存しますことをご了承ください。
 - ※充電電池は消耗品につき寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれ充電電池の容量は少しずつ低下します。駆動時間が大幅に短くなった場合は、電池寿命とされますので、カスタマーセンターまでお問合せください。（電池寿命の目安：充放電回数 約 500 回前後）
- （注）充電電池は消耗品につき無償保証の対象外です。電池の交換は有償による対応となります。

- （重要） 電池寿命が近い状態でさらに充放電を繰り返すとリチウム電池の特性上、異常な発熱や膨張が起る場合があります。このような場合は電源から本体を外して機器の使用を止めてください。
- （重要） お客様ご自身による本体の開封や電池交換は大変危険ですので絶対に行わないでください。
- （推奨） 満充電になったら「電源」「アダプター」「本機」を全て外すことを推奨いたします。

△ ご注意 (ご確認) ください

※当項目以降で記載する『ボタン』の名称(「XX」)は、主に『付属品リモコン』のボタン名称を記載しております。お手元に付属品のリモコンをご用意の上、ご参照ください。

(本体ボタンの場合「操作できない場合」や「該当ボタンがない」場合があります)

◎ディスクの再生 / 主な操作の手順

1. 電源を入れる

機器と電源を接続し、本体側面の主電源スイッチをオン(入)にします。

2. 機器にディスクをセットする

本体のディスクトレイカバー開スイッチを押してディスクカバーを開き、ディスクのラベル面を上に向けてセットします。

ディスクをセットしてからディスクカバーを閉じます。

(注) お買い上げ時はトレイ内部に「レンズ保護カバー(紙製)」が付いています。

本書 P.8 を参照して保護カバーを外してください。

(注) ディスクの読み込み面は手で触らないでください。

(注) カバーの開閉は丁寧にお取り扱いください。破損や故障の原因となる場合があります。

3. 再生の開始

トレイカバーを閉じると自動で再生がスタートします。

(ヒント) 市販の映画ソフトなどの場合、はじめにソフトのタイトルなどが画面に表示されます。
この場合、リモコンや本体のボタン操作でデータの選択や再生を行ってください。

4. 一時停止

ディスクの再生中にリモコン(又は本体)の「再生 / 一時停止 (▶II)」ボタンを押すと、再生を一時停止します。再度ボタンを押すと再生が再開されます。

5. 停止

再生中に「停止 (■)」ボタンを押すと仮停止して、画面上に

『再生キーを押し継続』と表示されます。

仮停止状態で「再生 / 一時停止 (▶II)」ボタンを押すと停止した場面から再生が再開されます。仮停止状態で「停止 (■)」を押すと完全停止となります。

6. 音量の調節

再生中に「音量+」ボタンを押すと音量が大きくなり、「音量-」ボタンを押すと音量が小さくなります。

7. 消音

再生中に「消音」ボタンを押すと音声のみを消すことができます。
消音状態で「消音」ボタンを押すと消音前の音量で出音します。

8. 場面のスキップ

再生中に「次へ (▶▶|)」 「前へ (|◀◀)」 ボタンを押すと、一つ次 (又は前) のチャプターにスキップ移動します。

(注) チャプター編集がされていないディスクでは機能しません。

9. 早送り・早戻し

再生中に「早送り (▶▶)」 「早戻し (◀◀)」 ボタンを押すと、早送り (又は早戻し) 再生を行うことができます。再生速度はボタンを押すごとに切り換わります。



10. 場面を選択して再生

「メニュー」ボタンを押すとメニュー画面が表示されます。DVD ソフトの内容から再生したいチャプターや字幕などを選択することができます。

(注) ディスクによってはメニュー画面がない場合があります。

11. アングルの切換

再生中に「アングル」ボタンを押すと映像のアングルを切り換えることができます。ボタンを押す回数によってディスクに記録編集された異なるアングルの映像に切り換わります。切換え可能なアングルの数と再生しているアングルの番号が画面に表示されます。

(注) アングル切換はマルチアングルで記録編集された DVD でのみ使用可能な機能です。
市販の DVD ソフトの場合、ジャケットやケースカバーなどで仕様をご確認ください。

12. 音声切換

再生中に「音声」ボタンを押すと、音声 (言語など) を切り換えることができます。音声ボタンを押すたびに記録されている音声切り換わります。切換え可能な音声の数と再生している音声の番号が画面に表示されます。

(注) ディスクによってはタイトル画面などからでのみ切換え可能な場合があります。

13. 字幕切換

再生中に「字幕」ボタンを押すと、字幕を切り換えることができます。ボタンを押すたびに字幕言語が切り換わります。切換え可能な字幕の数と再生中の字幕の番号が画面に表示されます。

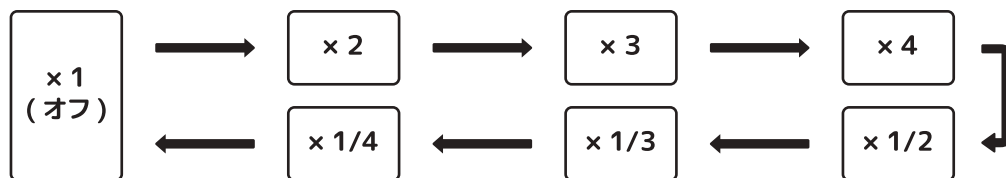
(注) ディスクによってはタイトル画面などからでのみ切換え可能な場合があります。

(注) 字幕データが収録されていないディスクではこの機能は使えません。

14. ズーム切換え

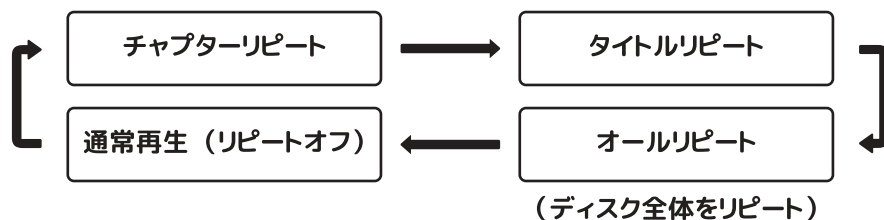
再生中に「ズーム」ボタンを押すと、映像の表示倍率を変更することができます。ボタンを押すたびに下記の順に表示倍率が変わります。

拡大表示中に「上下左右 (▲▼◀▶)」ボタンを押すと、画像を動かして表示範囲外の部分を見ることができます。



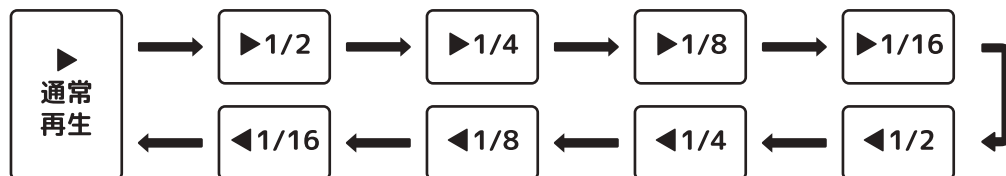
15. リPEAT再生

再生中に「リPEAT」ボタンを押すと、リPEAT再生を行うことができます。ボタンを押すたびに下記の順にリPEAT設定が切り換わります。



16. スロー再生

再生中に「スロー」ボタンを押すと、スロー再生を行うことができます。ボタンを押すたびに下記の順に再生スピードが切り換わります。



◎テレビ番組を録画したディスクの再生

- 本機ではテレビ番組を録画した DVD ディスク（以下【番組録画ディスク】記載）の再生が可能です。（CPRM 対応）但し、本機で読み込み可能な【番組録画ディスク】は以下条件で作成されたディスク（DVD-R/RW）のみとなります。
本機で【番組録画ディスク】を再生する場合、録画する機器側の設定やデータの保存方法やディスクの作成方法などにご注意ください。
- 録画に使用するディスクが DVD（DVD-R や DVD-RW）であること
ブルーレイディスクやウルトラブルーレイディスク（BD/BD-R/UHDBD など）の読み込みできません。
- 録画に使用したディスクが CPRM 対応であること
パソコンなどを使用して CPRM（コピー制御）非対応のディスクに TV 番組などのデータを保存・作成されたディスクの場合、読み込みできない場合があります。
- 録画した機器側で「ディスクのファイナライズ」の処理が行われていること
ファイナライズは録画した機器以外の機器（本機など）でもデータの読み込みができるように、データの終点ポイントを付加した上で以降の「書換え／上書き不可」状態にする処理です。
この処理は 録画した機器（レコーダー等）側でのみ実行できます。またこの処理が未処理の場合、録画した機器以外ではディスク再生はできません。
- データが等倍速で録画されていること
録画する機器側の設定が「倍速」「3倍速」など、データが圧縮して保存されている場合、読み込みできない・正しく表示されないなどの場合があります。
- 録画（ダビング）方式が VR モードで行われていること
録画機器のメーカーや仕様により「AVCRECモード」や「HDVRモード」など VR モード以外の録画方式があります。本機では VR モード以外の方式で録画作成されたディスクの読み込みはできません。

(参考資料)

主な録画機器 製造メーカー	録画機器の名称など	ダビング方式	本機での 再生可否
Panasonic	ブルーレイ DIGA ハイビジョン DIGA	AVCREC VR	× ○
Mitsubishi	REAL ブルーレイ REAL DVD レコーダー	AVCREC VR	× ○
Hitachi	Wooo ブルーレイディスクレコーダー	AVCREC VR	× ○
Toshiba	VARDIA ハイビジョンレコーダー	HDVR VR	× ○
Sony	ブルーレイディスクレコーダー	VR	○
Sharp	AQUOS ブルーレイレコーダー AQUOS ハイビジョンレコーダー		

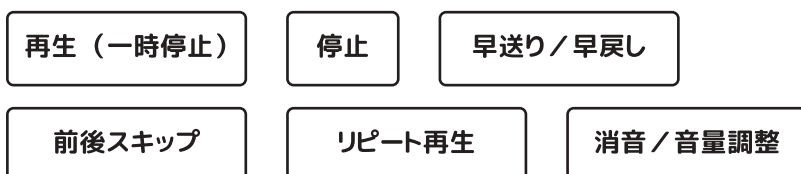
※上記資料は参考例として多々ある名称の中からピックアップされたものです。
上記以外にもメーカー名・機器名称・ダビング方式名称など複数ございます。

- ※ 上記条件に合った場合でもデータの書込方法・保存方法・データの破損・ディスクの互換性や相性
の問題などの理由で読み込みできない場合がありますので予めご了承ください。
- ※ 「ディスク」「CPRM」「ファイナライズ」についての詳細は本書 P.7 をご参照ください。

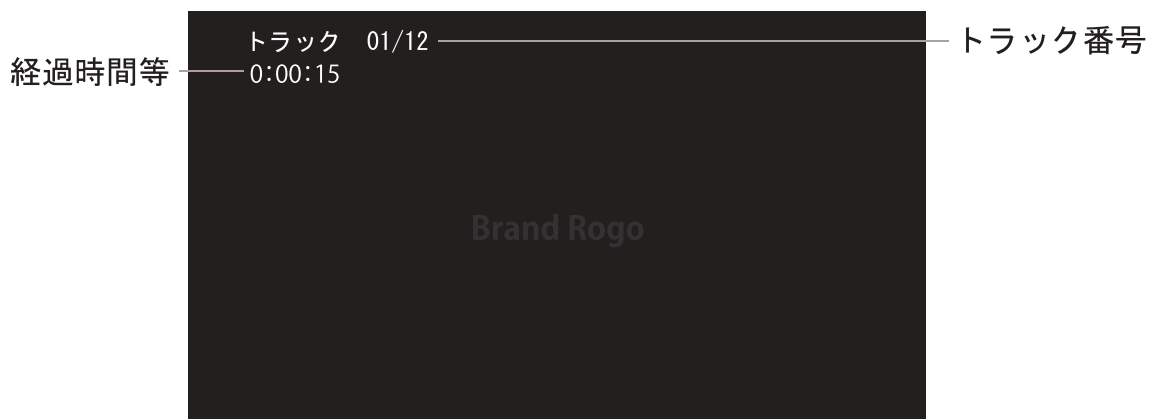
◎ディスクの再生 / 主な操作の手順

● 音楽 CD の再生

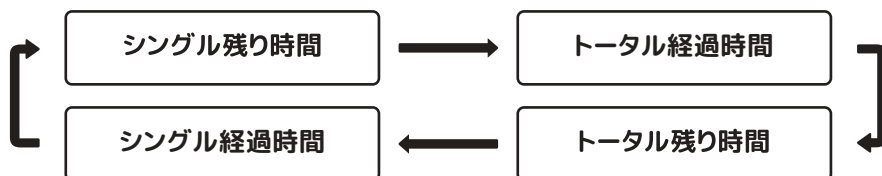
DVD ディスクと同様に CD ディスクをセットしてディスクトレイカバーを閉じると、音楽データの再生が自動的に始まります。音楽 CD ディスクの再生時では、DVD ディスク再生に使用するボタンで以下の操作を行うことができます。



● CD 再生時の画面表示

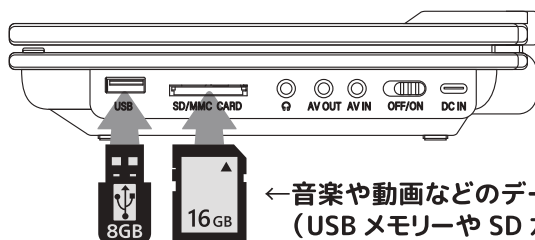


音楽 CD の再生中は、トラック（収録曲）の再生時間などの情報が画面に表示されます。「表示」ボタンを押すたびに下記の順に画面の表示が切り換わります。



◎外部メモリー（SD カード / USB フラッシュメモリーなど）を取り付ける

- ご視聴されるデータが保存された外部メモリー（SD カードや USB メモリー）を本機右側面の各端子部分に取り付けます。



（注）外部メモリーの挿入方向にご注意ください。

SD カード：ラベル面（プリント面）を上向きにして差し込みます

USB 端子：端子内側の凹凸を確認してください

● データの読み込み手順

本機にディスクが入っていない状態で外部メモリーを取り付けると、接続を自動で認識します。DVD ディスクが入っている場合「USB/SD」ボタンを押してください。

<手順>

- 主電源をオフ（切）にする ➡ 外部メモリーを取り付ける（上図）
- ➡ 主電源をオン（入）にする ➡ 本機のシステムが自動で起動します
- ➡ システム起動後に画面表示が切り換わり、以下順でメディアの自動検索が行われます。

「（ディスク）読込中」→「ディスク無し※」→「検索中」

（※）ディスクが入っている場合は「読込中」からディスクの再生が始まります。
この場合「USD/SD」ボタンを押してモードを切り換えます。

➡ 外部メディアの読み込みが成功するとフォルダやファイルが表示されます

（注）上記手順でメディアを認識できない場合、メディア側の仕様・相性・互換性・その他の問題が考えられます。他のメーカーのメモリーなどでお試しください。

△ ご注意（ご確認）ください

※データの読込中や再生中は外部メモリーの抜き差しを行わないでください。

※本機でご利用可能な外部メモリーの容量は 16 GB までのメモリーに対応しております。

但し、メーカー・仕様・互換性・相性の不一致などにより読込めない場合があります。

※本機でご利用可能な外部メモリーのファイルシステム形式（フォーマット）は「FAT32」です。

その他の形式（exFAT など）でフォーマットされた外部メモリーはご利用いただけません。

※本機でご利用可能なデータの保存ファイル形式は MP3・WMA・AVI・JPEG です。

但し、保存サイズやコーデック不一致などの要因により同形式でも読込めない場合や正しく再生されない（映像しか映らない／音飛びする ... など）場合があります。

※外部メモリーに保存（記録）された順序で再生されない場合があります。

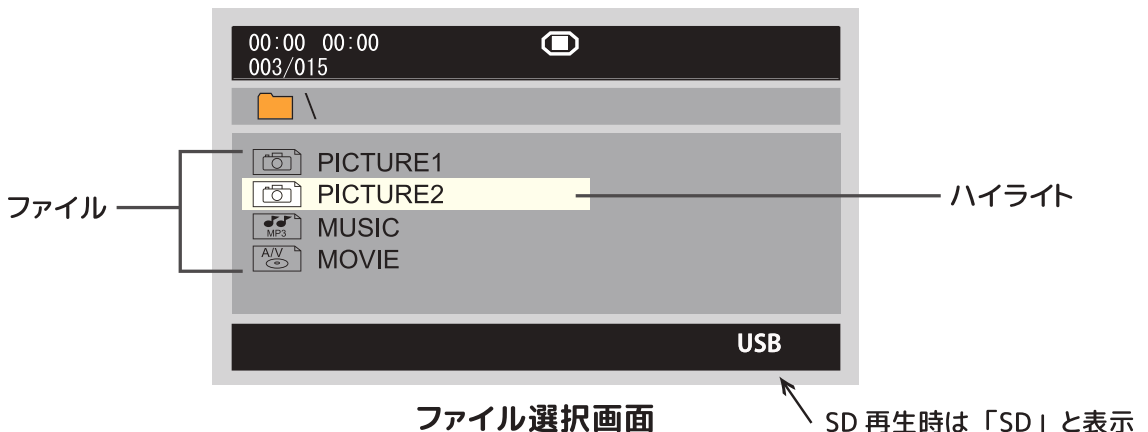
※動画や画像の再生画像比率は 16:9 で表示されます。

※外部メモリーについての作動保証およびサポートは当社では一切行っておりません。

お客様ご自身の責任において当機能をご利用ください。

◎フォルダ／ファイル（データ）の表示・再生

- 読み可能なデータが保存された外部メモリーを認識すると、ファイル選択画面に切り換わり、ファイル（フォルダ）一覧が画面に表示されます。（下図参照）
「▲／▼」ボタンで項目（ハイライト）を移動させ、「決定（OK）」または「再生／一時停止」ボタンを押して選択項目を実行します。



（ヒント）フォルダやファイルの保存場所（階層など）は、外部メモリーにデータを保存（記録）したパソコン等、お客様の保存方法に準じて記録されています。
フォルダの有無や階層の変更は本機ではできませんのでパソコン等をご利用ください。

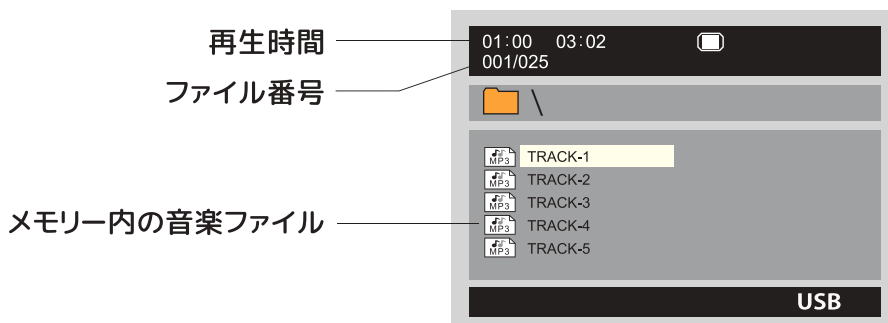
（注）本機でファイル（データ）の順序を「撮影日時」「同期」「コピー」順などにソートすることはできません。

⚠ ご注意（ご確認）ください

- ※データの読み中や再生中は外部メモリーの抜き差しを行わないでください。
- ※本機でご利用可能な外部メモリーの容量は 16 GB までのメモリーに対応しております。
但し、メーカー・仕様・互換性・相性の不一致などにより読み込めない場合があります。
- ※本機でご利用可能な外部メモリーのファイルシステム形式（フォーマット）は「FAT32」です。
その他の形式（exFAT など）でフォーマットされた外部メモリーはご利用いただけません。
- ※本機でご視聴可能なデータの保存ファイル形式（拡張子）は WMA・AVI・MP3・JPEG です。
但し、保存サイズやコーデック不一致などの要因により同形式でも読み込めない場合があります。
- ※外部メモリーについての作動保証およびサポートは当社では一切行っておりません。
お客様ご自身の責任において当機能をご利用ください。

◎本機で再生が可能な音楽データの形式は「MP3」「WMA」形式です。

- 読込可能な音楽データが保存された外部メモリーを認識すると、下図画面が表示されます。画面上に表示されたデータを選択し、再生するデータを決定します。



(注) ファイル名やその他の表示文字は「英字 / 数字 / 記号」にのみ対応しております。
※日本語文字（ひらがな・カタカナ・漢字）は正しく表示されない場合があります。

(注) Wave サウンドファイルは認識しません。
その他データが再生できない場合は本書 P.29 をご参照ください。

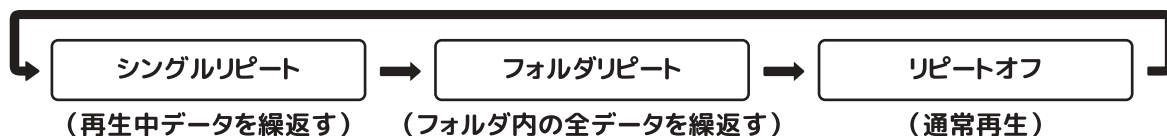
◎操作方法

- 「▲/▼」ボタンでハイライト項目を移動させ、再生したいデータを選択します。
- 「決定（OK）」ボタンを押すと選択したデータの再生が始まります。
- 再生中に「▲/▼」を押して別のデータを選択することもできます。
その時の再生中データのハイライトは白色で表示されます。

*音楽データ再生中は次の操作が可能です。

- ・ 停止 「停止」ボタンを押します。
- ・ 一時停止 「再生 / 一時停止」ボタンを押します。
- ・ リピート再生 「リピート」ボタンを押します。

（ボタンを押すごとにリピート方式が下記のように切り換わります）



△ ご注意（ご確認）ください

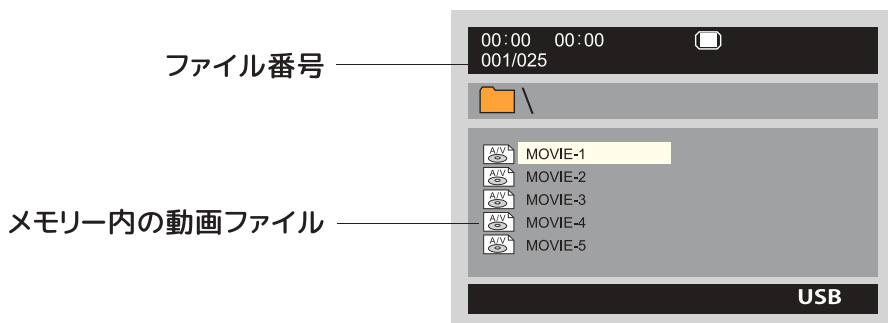
※当機搭載のメモリープレーヤーソフトは無償サービス付加ソフトです。

再生可能と記載されたデータ形式でも「データ作成方法」「保存サイズ」「保存方法」その他の要因により認識されない場合や再生できない場合などありますので予めご了承ください。

※外部メモリーについての作動保証およびサポートは一切行っておりませんので予めご了承ください。

◎本機で再生が可能な動画データの形式は「AVI」「MPEG2」形式です。

- 読込可能な動画データが保存された外部メモリーを認識すると、下図画面が表示されます。画面上に表示されたデータを選択し、再生するデータを決定します。



（注）ファイル名やその他の表示文字は「英字 / 数字 / 記号」にのみ対応しております。
※日本語文字（ひらがな・カタカナ・漢字）は正しく表示されない場合があります。

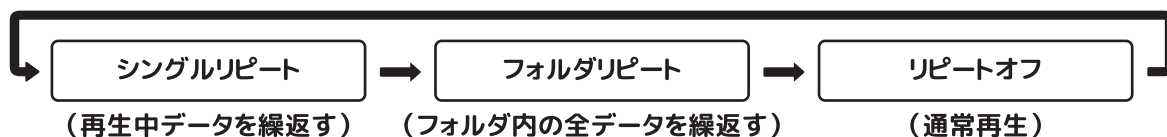
（注）MPEG4・AAC データは再生できません。
その他データが再生できない場合は本書 P.29 をご参照ください。

◎操作方法

- 「▲/▼」 ボタンでハイライト項目を移動させ、再生したいデータを選択します。
- 「決定（OK）」 ボタンを押すと選択したデータの再生が始まります。

*動画データ再生中は次の操作が可能です。

- ・ 停止 「停止」 ボタンを押します。
 - ・ 一時停止 「再生 / 一時停止」 ボタンを押します。
 - ・ リピート再生 「リピート」 ボタンを押します。
- （ボタンを押すごとにリピート方式が下記のように切り換わります）



※データの作成 / 保存方法によっては「スキップ（前へ / 次へ）」ボタンでデータのスキップ移動ができる場合もあります。

△ ご注意（ご確認）ください

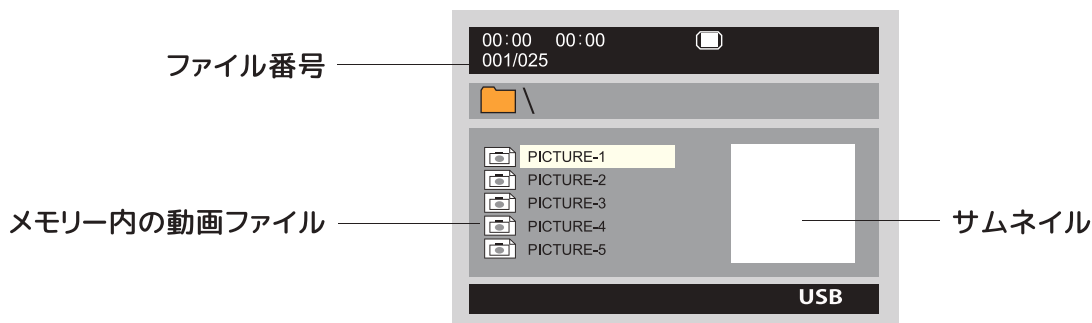
※当機搭載のメモリープレーヤーソフトは無償サービス付加ソフトです。

再生可能と記載されたデータ形式でも「データ作成方法」「保存サイズ」「保存方法」その他の要因により認識されない場合や再生できない場合などありますので予めご了承ください。

※外部メモリーについての作動保証およびサポートは一切行っておりませんので予めご了承ください。

◎本機で再生が可能な画像データの形式は「JPEG」形式です。

- 読込可能な画像データが保存された外部メモリーを認識すると、下図画面が表示されます。画面上に表示されたデータを選択し、再生するデータを決定します。



（注）ファイル名やその他の表示文字は「英字 / 数字 / 記号」にのみ対応しております。
※日本語文字（ひらがな・カタカナ・漢字）は正しく表示されない場合があります。

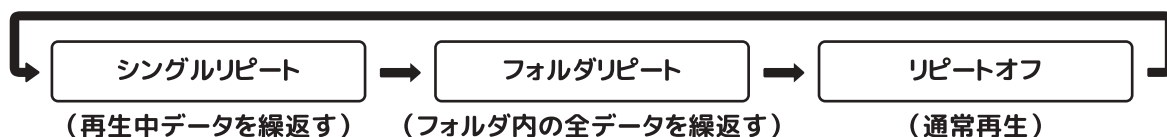
（注）画像データが再生できない場合は本書 P.29 をご参照ください。

◎操作方法

- 「▲/▼」 ボタンでハイライト項目を移動させ、再生したいデータを選択します。（表示部右側にサムネイル画像が小窓表示されます）
- 「決定（OK）」 ボタンを押すと選択したデータの再生が始まります。

*動画データ再生中は次の操作が可能です。

- ・ 停止 「停止」 ボタンを押します。
- ・ 一時停止 「再生 / 一時停止」 ボタンを押します。
- ・ リピート再生 「リピート」 ボタンを押します。
（ボタンを押すごとにリピート方式が下記のように切り換わります）



- ・ 画像の回転 スライド再生中に「▶」 ボタンを押すと右に 90°回転
スライド再生中に「◀」 ボタンを押すと左に 90°回転
- ・ 画像の反転 スライド再生中に「▲」 ボタンを押すと上下反転
スライド再生中に「▼」 ボタンを押すと左右反転

※スライド再生中に「メニュー」 ボタンを押すとファイル選択画面に戻ります。

△ ご注意（ご確認）ください

※当機搭載のメモリープレーヤーソフトは無償サービス付加ソフトです。

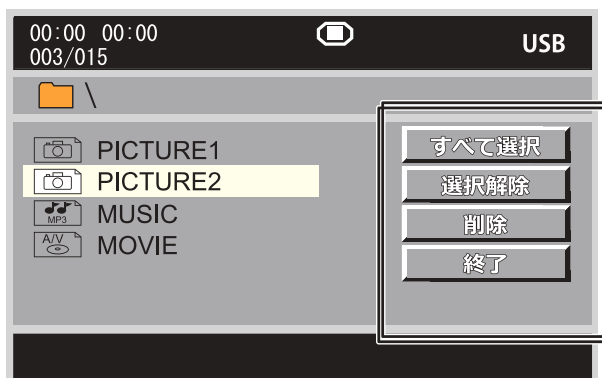
再生可能と記載されたデータ形式でも「データ作成方法」「保存サイズ」「保存方法」その他の要因により認識されない場合や再生できない場合などありますので予めご了承ください。

※外部メモリーについての作動保証およびサポートは一切行っておりませんので予めご了承ください。

◎本機に接続した外部メモリーの保存データを管理（削除）する

- ファイル選択画面表示中に
「字幕（録音）」ボタンを押すと、
データ管理タグが表示されます。

<すべて選択>データを全て選択
<選択解除>選択を全て解除
<削除>選択したデータを削除
<終了>管理タグの終了



■データを外部メモリーから削除する

- ① 削除したいデータが保存されたメモリー側のモードに切り換えます。
- ② 「字幕（録音）」を押して管理タグを表示します。
- ③ 「▲」「▼」で削除したいデータにハイライトを移動して「決定」を押します。
- ④ <削除>タグを選択して「決定」を押すとデータが削除されます。

※ 保存されたデータを「すべて削除」する場合、
②から「◀」「▶」で<すべて削除>タグを選択して「決定」を押します。

⚠ ご注意（ご確認）ください

※一度削除したデータを復元することはできません。ご注意ください。

※外部メモリーについての作動保証およびサポートは一切行っておりませんので予めご了承ください。

◎音楽 CD から外部メモリー（SD カードや USB メモリー）に録音する

⚠ ご注意（ご確認）ください

※録音に仕様する外部メモリーにデータが保存されている場合、録音操作を行う前に必ず他のメモリー等にバックアップ保存してください。保存されていたデータが消失する場合があります。

⚠ ご注意（ご確認）ください

※本機では一般的な市販の音楽 CD および MP3/WMA 形式で記録された CD-R/RW などから外部メモリー（SDやUSBメモリー）への録音が可能です。

※録音されたデータは「MP3」形式で記録されます。

※録音中の本機操作（音量調整や音質変更など）は録音データには反映されません。

※録音に仕様する外部メモリーに空き容量がない場合「Device full」と表示され記録できません。

※容量の大きいメモリーを接続した場合、読み込みに時間がかかることがあります。

※本機ではフォルダ名やファイル名の入力（編集）はできません。

- ① USB 端子またはスロットに外部メモリーを正しく接続します。
- ② 録音したい元のCDを再生します。
- ③ CD再生中に「字幕（録音）」を押して録音操作画面（下図）を表示します。

録音操作画面

CD録音			
オプション		トラック	
(1)	速度 標準	✓ track01	04:26
(2)	ビットレート 128kbps	track02	03:41
(3)	ID3情報 する	✓ track03	04:45
(4)	メディア USB	track04	04:30
	録音情報	track05	04:20
(5)	トラック 0	✓ track06	04:51
(6)	タイム 00:00	track07	03:28
		▼	
	開始 戻る	すべて選択	すべて取消

トラックリスト

- ④ 「▲/▼/◀/▶」 ボタンで各項目に移動し「決定」で決定します。
- ⑤ 各設定を確認後、<開始>タグを選択します。「決定」を押すと録音が始まります。

- (1) 録音スピード：「決定」を押すごとに速度の設定が切り換わります（標準 ↔ 高速）
 ※標準速度の場合、ファイルの録音と同時にディスク再生が始まります
 倍速（高速）の場合、録音しながら同時にディスク再生はできません
- (2) ビットレート（圧縮比率）：「決定」を押すごとに圧縮率設定が切り換わります
 96kbps → 112kbps → 128kbps → 192kbps → 256kbps → 320kbps
 ※この数値が高いほど音質はよくなりますが変換後の保存サイズも大きくなります
- (3) ID3 TAG 式ファイルの作成を選択します（する ↔ しない）
- (4) 録音先メディアの検出状態を表示します
- (5) 選択したデータ（トラック）の総数
- (6) 選択したデータの総再生時間

メディア / データファイルについて

◎外部メディア（SD カード・USB メモリー）について

- 本機ではファイルシステム形式が「FAT32」形式でフォーマットされた外部メモリーの読み込みが可能です。他の形式（FAT16 や exFAT など）でフォーマットされたものは認識されません。
- 本機では最大容量 16GB までの外部メモリーを推奨しております。最大容量 32GB を超える外部メモリーの場合「認識しない」「誤作動を起す」等の事象が起きる場合があります。
- 上記条件等を満たしたメディアでも、メーカーや型式や仕様や互換性やその他要因により本機では認識できない場合や動作しない場合があります。この場合、他メーカーのメディアでお試ください。
- 外部メモリーの作動保証やサポートは一切おこなっておりません。予めご了承ください。

◎データ（音楽 / 動画 / 画像）再生について

- デジタル著作権管理（DRM）されたデータファイルの再生はできません。
※DRM とはデジタルデータとして表現されたコンテンツの著作権を保護し、その利用や複製を制御する技術の総称です。（音声&映像ファイルの複製制限や画像の電子透かし技術など）
- 音楽再生では「MP3/WMA（DRM は非対応）」形式で保存されたデータの再生が可能です。
ただしデータファイルをパソコン等からメディアに転送する際に、専用ソフトを利用して独自の暗号化（著作権保護等）を施されたファイルを入れたメディアの場合、本機では再生できません。
例）アップル社製「iPod」シリーズ・ソニー社製「Walkman」シリーズ
パナソニック社製「D-snap audio」シリーズ・JVC 社製「アルネオ」シリーズ など
- 動画再生では「AVI」「MPEG2」形式で保存されたデータの再生が可能です。
ただしデータ作成 / 保存時のコーデックやビットレートの不一致や当機搭載ソフトとの互換性や相性の相違などにより、認識されない場合や正しく再生できない場合があります。
また MPEG4 や WMV 形式のファイルは再生できません。
- 画像再生では「JPEG」形式で保存されたデータのみ再生が可能です。
ビットマップ形式や TIFF 形式のファイルは再生できません。
- 動画および画像の推奨最大サイズ（解像度）は 720*480 までのデータです。
推奨サイズ以上で作成・保存されたデータの場合、当機ソフトでは認識されない場合や正しく再生できない場合があります。
- メディア・データのサイズや構造により、画面に表示されるまで時間がかかる場合があります。
- 当機搭載ソフトのデータ名・ファイル名・フォルダ名等の表示文字は「英字 / 数字 / 記号」にのみ対応しています。メディアに保存されたデータやフォルダ名の文字が日本語文字（ひらがな・カタカナ・漢字）で記録されている場合、正しく表示されない場合があります。